

基山町議会
議長 品川義則様

総務文教常任委員会
委員長 栗野久明

所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を終了したので、その結果を報告します。

記

1 調査事項並びに調査期日

(1) 基山町立図書館の現状について（令和2年8月6日）

- ① コロナ禍での図書館運営と対策について
- ② 図書館での事業、ボランティア活動について
- ③ 図書館運営上の課題について

2 調査結果

基山町立図書館内視察の後、質疑応答・意見交換を行った。

館内の感染症予防対策については、職員のマスク着用や受付のビニールカーテンを設置し、館内換気を行っている。返却本は表紙のアルコール消毒を行った後、紫外線照射器による消毒を行っている。また、検索機・自動貸出機・鉛筆などについても、定期的に消毒を実施しているとの説明を受けた。

ボランティア団体「手をつなごう図書館の会」の成り立ちと打合せ頻度及び今後の活動について質したところ、旧図書館時からお話会グループ等があったが、図書館等建設検討委員会においても、ボランティア組織を継続していくということで27名で発足した。また、花飾りや清掃活動のボランティアも活動している。今後の活動については、誰でも気軽に参加できるような体制づくりを目指していきたいとの説明を受けた。

図書館事業として、大人のための映写会、竹あかりナイト in 図書館、読書週間事業スペシャルお話会など様々な事業を実施している。また、他課との連携企画展の時は、事前に担当課と協議を行っているとの説明を受けた。

基山町立図書館はどのような充実を図っていくのか質したところ、必要な情報や知識を得ることができる図書館づくりが本来の業務で一番大切ではないかと考え

ている。旧図書館時には資料費の年間予算が約 540 万円であったが、利用者が伸びているので、現在も建設当時からの 1,200 万円の予算がついている。また、本の選定にあたっては町民のリクエスト、職員間の協議などで選定している。今後、広域連携の相互貸借も含め、図書蔵書の充実に努めていきたいとの説明を受けた。

さらに、今後の運営上の課題について質したところ、現在、コロナ禍の最中で交流が難しい状況下において、安心・安全な図書館づくりに努めていきたい。また、資格者を含めた若い世代の人材確保が課題であるとの説明を受けた。

当委員会としては、日々の図書館の管理・運営、各種事業の遂行などに苦慮していると思うが、今後、基山町立図書館に関わりたい人をどう広げていくかを含め、より一層町民に親しまれる図書館づくりやさらなる図書蔵書の充実に努めていくよう提案した。